

# 三河湾で自然体験!

7/27

中日新聞の記者さんから心得を教えてもらった後、三谷水産高等学校の実習船、愛知丸に乗船。船内でカツオの1本釣りの説明を聞き、甲板上で実物を見せてもらいました。特別な機械で酸素や海中プランクトンの量も測定。海底の水を汲み上げ、水深12メートルの泥も採取。触った感じや匂いも確認。シーカヤック体験も行いました。



## 三河海新聞

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT

発行：海と日本プロジェクト in 愛知県実行委員会  
 協力：テレビ愛知、中日新聞社  
 愛知県立三谷水産高等学校  
 愛知県水産試験場  
 山本水産  
 戸田理平商店  
 ビック・アイランド・マリナーズ  
 蒲郡漁業協同組合 竹島支所

企画・制作 / 中日新聞広告局

8/24

三谷水産高校の高校生たちと一緒に竹島海岸で干潟の生き物を観察。学校でアジの干物、のり、アサリの味噌汁、タコと自分たちで握ったおにぎりで昼食をとった後はみんな、学んだことを大きな新聞に書いていきます。中日新聞の記者さんに教えてもらいながら、4つの新聞を制作しました。それぞれの視点で、独自の新聞が出来上がりました。



**三河湾は驚きだらけ 改めて知る海の豊かさ**

2日間に渡って行われた「海と日本プロジェクト 愛知の海は元気なの?!」我ら三河湾水質調査レポーター。小学6年生16人が新聞記者となって愛知の海を学び、最終日に新聞記事に仕上げました。

めったに乗れない実習船「愛知丸」に乗船し、三河湾の水や海底の泥を観察。グループディスカッションを通して、どうして魚が減っているのか、どうやって干潟を守るのかを考えました。また、干潟観察やシーカヤック体験、専門家の授業などを取材。最終日には新聞記者のアドバイスを受けながら新聞記事を作成し、発表会を行いました。

体験を通して子どもたちが学んだことは、海の豊かさや自然の大切さ。その豊かな海、三河湾を自分たちで守っていくという気付きがあった貴重な2日間でした。

